

5.19

■司会 比嘉 清美 <沖縄県> 西原町子ども会育成協議会 役員
石川 順雄 <広島県> 広島県立生涯学習センター 専門員

1. 総合型地域スポーツクラブによる地域の活性化と青少年健全育成

13:30~13:55

加藤 典紅 <鳥取県> 北条町体育指導委員
平成10年度チャレンジデーへの参戦を機に総合型スポーツクラブの導入へと発展した。
平成5年に設立された(財)北条町スポーツ振興事業団を核とし、住民主導型の生涯スポーツを通して、青少年の健全育成に資する事はもとより高齢者の健康、地域の活力の向上を目指した町づくりを目的としている。

2. 青年の自己啓発と地域再生活動

13:55~14:20

-CYFからCYCへ-

白岩 修 <宮崎県> 木城町教育委員会社会教育課 主事
CYFとは「地域ユースフォーラム」の略であり、CYCとは「地域ヤングサークル」の略である。CYFは平成8年度から、CYCは平成11年度からの事業である。ともに宮崎県内の市町村に委託をして、青年の自己啓発と組織の拡充を図るため学習と発表の機会を提供するための事業である。CYCでは市町村の境界を越えた広域の青年活動の振興策であり、最終目的は青年の活力を引き出すことによって地域を活性化することである。木城町では「木城若者会青年塾」の事業名称の下に、「夜なべ討論」、「マウンテン・バイク耐久レース」、「クリスマス・イルミネーション点灯式」、「町内青年交流会」等が実施された。更に広域の「地域ヤングサークル」の活動では、地理的条件の共通性に着目した市町村のグループ編成を行ない、スポーツやカート体験等を活用した合同の交流会を開催してきた。交流の深化はもちろん、イベントの定例化、新規事業の創設等成果は著しい。

~ ティータイム ~

14:20~14:55

3. 地酒「中山郷夢語」の全国共同創作によるジゲおこし

14:55~15:20

なかやまのさとゆめかたらい
畑 千恵子 <鳥取県> 地酒「中山郷夢語」 発起人
平成6年度以来、酒米「五栄」、酒米「強力(ごうりき)」の発掘・使用によって創造の「地酒」：「中山郷夢語」を通じた地域起こしの活動を続けている。実行委員会は「稲穂の会」。田植え、稲刈り、新酒発表などの催しには、地元ボランティアはもちろん全国各地から多数の参加者を得るようになった。米づくりは「無農薬合鴨農法」、酒作りは二月の「新酒」、6月下旬の「夏酒」、11月の「冬の酒」という三つのバージョンを提供している。今後の課題は人的ネットワークの輪を広げる事、耕地面積を広げて「中山郷夢語」の生産を拡大し、地域活性化の貢献度を高める事である。

4. 県境(福岡県・大分県)を越えた生涯学習広域講座の方法と成果

15:20~15:45

刀根 伸 <福岡県> 福岡県教育庁京築教育事務所 主任社会教育主事
出発点は平成9年度「豊築・中津地区コミュニティ会議」の結成である。そこから「豊の国地域ブロック学習事業」が生まれ、現在の福岡県側の「京築学びの森推進事業」に繋がってきている。対象地域は福岡県京築地区と大分県中津・宇佐・下毛地区という二つの県にまたがっており、17市町村に及ぶ。当然、活動の中心組織もそれぞれの地区に存在し、基本理念は共通文化圏における県境を越えた連携である。事業の実施にあたっては市町村が基軸となり、民間の社会教育団体、病院、及び大学を含む地域内の各教育機関等と連携し、多様化した学習要求に対応する工夫をしてきた。今後の課題は、連携のコーディネート機能のあり方、連携の範囲と意義の再確認など広域であるが故に生ずる問題の処理である。

5. 総括討論

15:45~16:15

6. 特別報告(4F大研修室)

「生涯学習実践研究20年の総括」~日本文化における知的風土の変革~

三浦清一郎 (社会教育・生涯学習研究者)

16:30~17:00